

2004年3月3日

小池環境大臣にキャンペーンの説明

脱フロン・キャンペーンを実施しているストップ・フロン全国連絡会と気候ネットワークのメンバーは二〇〇四年三月三日、小池百合子環境大臣を訪問し、脱フロン・キャンペーンについて紹介し、意見交換を行いました。

私たちからは、日頃からフロン・代替フロンについて抱いている問題意識を小池大臣に説明し、これらのガスを大気中に漏らさず使用することがいかに難しいかをお話しました。また、これから脱フロン社会を目指していく必要があります、政策的にも対応する必要があると考えていることもお話ししました。小池大臣は、私たちの脱フロン・キャンペーンについて熱心に耳を傾けて聞いてくださいました。

特に、当日持参した代替フロン（HFC134a）を使ったホコリとばしスプレーをお見せして、そのような用途を止めていく必要があることを訴えた時には、「このようなスプレーがあること自体知らなかった」と率直な感想を述べられ、驚いていました。

脱フロン社会の実現に向けては、大臣は、「皆さん方が熱心に活動されていることはよくわかりましたので、環境省として何が出来るか考えていきたい」というお言葉をいただきました。

これからの脱フロン社会へ向け、大臣主導で環境省が大きく踏み出すことに期待したいと思います。